

岩海と地域のかかわり

〔岩海の整備や政策〕

昭和 35(1960)年	研究者による調査 (予備調査では旧久井歴史民俗資料館の旧館を寄贈された玉浦護氏も携わりました)
昭和 39(1964)年	天然記念物指定
昭和 48(1973) ～54(1979)年	岩海雑木伐採, 土砂除去
昭和 54(1979)年3月	旧保存計画策定
平成 19(2007)年	日本地質百選 に選出
平成 30(2018)年3月	保存活用計画策定



昭和 38(1963)年 研究者調査
中央→東京大学名誉教授 辻村氏
奥→広島大学名誉教授 今村氏

〔岩海と久井町のかかわり〕



昭和 39(1964)年 団体見学



昭和 40(1965)年 久井中学校遠足



平成 4(1992)年 岩海祭り

★草刈り

岩海は明治末くらいまで全体がススキ原でした。牛市が開かれている時は刈った草を売りに行って子どもはお小遣いにしたそうです。

★生活活用

昭和 30(1955)年ころまで、落ち葉を掻き集め田畑に入れていました。冬のこたつ用に炭焼きをしていたため、中ごろろに炭焼き場が3か所ありました。大ごろろで表出する水を消火用に使っていました。

木材(マツ, ヒノキ)を伐採して家を建てたり, 薪として岩海の木材が使用されたりすることもありました。



柴栗

★牛馬との関わり

昭和 23(1948)年ころまで 8月末まで岩海で放牧をしていました。その当時は「牛ごろろ」とも呼ばれました。9月になると麦を植えるため牛が必要になるので, 下山していたそうです。最盛期の牛市の頃は, 岩海まで牛の声が聞こえていたというエピソードが残っています。

★弘法大師の伝説(平安時代)

岩海には柴栗がたくさんあり, 旅の途中に立ち寄った弘法大師が子どもにも採集できやすいように植樹したという伝説が残っています。

★ お酒やお菓子などの販売



岩海の水でつくったお酒

* 現在は販売されておりません。



石ごろろまんじゅう

*いとう松月堂にて販売中



おいしーよ



岩海からあげ

*みかど寿司にて販売中